

事務事業名	菅谷たたら山内管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課	自治振興課	
総合計画体系	政策名	<IV>ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	自治振興グループ	
	施策名	<31>地域文化の振興		課長名	渡部 一雅	
	目的: 対 象	市民	意 図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。	電話番号	0854-74-0211 (内線) 4416
	担当者名	大谷 美里		担当課	社会教育施設管理事業	
基本事業名	<089>地域文化の保存継承		予算科目	会計: 款: 大事業: 大事業名: 社会教育施設管理事業 0: 1: 5: 0: 0: 1 項: 目: 中事業: 中事業名: 菅谷たたら山内管理事業 2: 5: 1: 0: 1: 5		
目的: 対 象	市民	意 図	地域文化を次世代に伝える。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	・指定管理業務 ・施設修繕 ・関係部局との協議を行い、文化財の保護と活用に努める。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績 (R2年度に行った主な活動)	R3年度計画 (R3年度に計画する主な活動)				
	・指定管理業務 ・施設修繕 (高殿トイレ) ・指定管理更新業務 ・関係部局との協議	・指定管理業務 ・関係部局との協議				
	② 活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
ア	指定管理施設運営に関する協議回数	回	6	6	10	6
イ	施設修繕箇所数	箇所	2	2	4	1
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)	
	市民、指定管理者	ア	雲南市人口	人	37,012	36,248	36,024	35,818
		イ	指定管理団体	団体	1	1	1	1
		ウ	市内小中学生の人数	人	2,783	2,697	2,667	2,617
	② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)	
	・市内外の方や次世代を担う小中学生が現存する文化遺産に触れ、たたら製鉄等についての理解を深め、関心が高まる。	ア	施設入館者数	人	8,943	8,364	3,767	4,500
イ		小中学生の入館者数	人	455	358	369	350	
ウ		指定管理団体の自主事業件数	件	3	2	1	1	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)	
需用費(施設修繕費) 104千円 委託料(指定管理料) 10,064千円 計 10,168千円	事業費内訳	国庫支出金	千円				
修繕は小規模修繕でも対応		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	10,181	10,074	10,168	9,755
		事業費計 (A)	千円	10,181	10,074	10,168	9,755
	人件費	人	2	2	1		
延べ業務時間	時間	50	50	50			
人件費計 (B)	千円	217	212	210			
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,398	10,286	10,378			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・各施設が文化財保存修理工事により順次修理が行われ、H30より三軒長屋に着手されている。 ・近年外国からのツアー客が増加傾向。 ・R2から新型コロナウイルスの影響で鉄の歴史村関連施設の入館者が激減している。 ・R2年度をもって、鉄の未来科学館が閉館。	・R2年度指定管理料の見直しを行った。 ・指定文化財の施設が多いので、教育委員会と連携を取りながら施設管理について検討を行っている。	・観光地としての魅力向上に向けた施設の利便性、機能の充実が望まれている。 ・首里城の火災以降、火災予防に対する不安があり、施設の管理体制を強化したい。 ・文化財指定されていない大どう場の老朽化が顕著であり、景観が良くない。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
C 効率性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 国指定文化財の適正な保存、公開、管理ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	理由 指定管理は、入館料によって収入が大きく増減するため、新型コロナウイルスの影響が残る中でこれ以上削減すれば人件費で調整することとなり、管理団体が立ち行かなくなる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	理由 指定管理団体との協議や、文化財施設に関する教育委員会、関係団体、個人(土地所有者)との調整も必要であり、一定の業務時間は必要。教育委員会が所管すれば協議や調整が減少するため、業務時間は削減できると考える。
評価 の 総 括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	理由 指定管理等を通じて、市内外の住民及び関連する団体、組織等を対象とした幅広い事業が展開されており、公平性は適切である。
	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設の経年変化や老朽化への対応は、破損や影響が顕著なものから優先順位を付け、対応している。今後も指定管理者と行政が連携して、共通の認識により対応することが重要。施設に関する利活用策については、より一層の関係者・団体等連携の下、進展を図る必要がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;"> 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。 </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
市は、引き続き施設の機能維持に努め、指定管理者は、各種団体や住民団体等との連携強化により他の事業も活用しながら効果的な情報発信や各施設の効果的な公開に向けて充実を図っていく。 現在三軒長屋の保存修理工事中のため、具体的な資料展示や公開方法については今後検討していく。																						
鉄の歴史村関連施設では、指定文化財を多く扱うため、専門的な知識を有し、指導ができる教育委員会文化財課が所管するのが適していると考えられるが、業務量、人員体制から考えても難しいと考える。																						